

たかつき  
高月

り けい  
狸兄 (生年不詳～1762)



俳人。商人。伊予吉田藩の御用商人・高月家三代目当主で吉田(現、宇和島市)を中心に活動した人。本名は甚十郎英光。淡々流の主要俳人・浦川富天に師事し、椎本芳室編の『妻戸埜波那』に連句を定雄、谷脇恩竹とともに寄せている。伊勢神宮などへの紀行『存のほかの日記』を残し、吉田に淡々流を広めた。

## 略歴

生年不詳

元文5(1740)年

富天編『押花宴』刊行。狸兄の句が収められている。

寛保2(1742)年

富天が吉田に来遊し、もてなす。

寛保3(1743)年

芳室編『妻戸埜波那』刊行。狸兄の連句が収められている。

延享元(1744)年

東々庵蛙井編『頭陀袋』に松木淡々とともに序を寄せる。

宝暦3(1753)年

松木竿秋編の淡々80歳の賀集に11句収められている。

伊勢神宮参拝後、東海道、越後から軽井沢を旅する。

宝暦4(1754)年

『存のほかの日記』刊行

宝暦12(1762)年6月29日

永眠

(肖像画：高月一氏蔵)

〈関連図書〉

・愛媛県史編さん委員会 『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年

・愛媛県歴史文化博物館編『海道をゆく～江戸時代の瀬戸内海～』愛媛県歴史文化博物館 1999年

〈ゆかりのある場所〉…(P297, 135～136)

〈関連施設〉…吉田ふれあい国安の郷

〒799-3761 愛媛県宇和島市吉田町鶴間1503番地 TEL: 0895-52-4884